


2021.3 川崎市立労働会館 vol.19

サンピアン通信

- 
1. 催物講座開催報告
 2. サークル活動紹介
 3. かわさきの今と昔

発行 川崎市立労働会館(サンピアンかわさき) 発行責任者 村上浩一
事務局 川崎市立労働会館(川崎市川崎区富士見2-5-2 内)
指定管理者 公益財団法人神奈川県労働福祉協会

刺しゅう教室体験講座の開催報告



手順や要領を説明



刺しゅうの実習開始！



分からない部分をフォロー



ポイントとなる部分の動画を携帯に...



手元を見て回る 講師

昨年12月12日(土)13日(日)に日本手芸普及協会講師 熊谷綾子先生による『刺しゅう教室体験講座』が開催されました。

コロナ禍で必須アイテムのマスクに、冬や新年のテーマとして「ヤドリギ、星、ダルマ」を刺しゅうするオリジナルマスクの体験講座は関心も高く、小学生とその母親が参加するなど、年齢を問わず応募者多数の人気講座となりました。講師が最初に作業手順や要領を説明した後に、併用した大型モニターで、予め用意しておいた各パートの縫い方やポイントのお手本動画をルーティンさせながら、生徒の分からないところを手ほどきし、手元を見て回る効率の良い授業方式で進められました。受講者の皆様が、復習用にポイントとなる部分の動画を携帯に録画されるシーンが何度も見られました。

感染症対策は、外気導入を職員が1時間に2回、窓・扉の全開を3分間行い、席を対角線に設置してシールドを着座席間に配置してソーシャルディスタンスを確保しました。入室の際のアルコール除菌液での消毒も徹底しました。

フラワーアレンジメント教室の開催報告



均整がとれ完成した受講者の作品

昨年12月26日(土)にフラワーデコレーター協会 1級ライセンス会員 矢島幸子先生による『お正月フラワーアレンジメント教室』が開催されました。

感染症が増加傾向のピークにさしかかる時期とも重なり、今年度は少人数制で時間分散型の開催と致しました。お正月の楽しみとして、或いは、初めてで作ってみたいという思いの受講生が、講師から多くのノウハウを学び、例年以上にどの作品も成果が出て、すばらしい出来栄となりました。受講生からは、内容や講師への評価度も高く、丁寧に教えを受けられ、感染症や年末の慌ただしさを忘れて、リラックスした気持ちで取り組むことができたとの感想をいただきました。

感染症対策は、刺しゅう教室体験講座と同様に、外気導入を職員が1時間に2回、窓・扉の全開を3分間行い、各々の席の離隔を取り、また、受講生が講師の指導を受ける時、意識的に1mのソーシャルディスタンスを保つようにしました。入室の際のアルコール除菌液での消毒も徹底しました。



講師と受講生の1mのソーシャルディスタンス

洋裁研究会

サークル紹介

- 活動日** 活動日 木曜日月3回 午前10:00~12:00 午後13:00~15:00
- 部屋** 3階 洋裁手芸教室
- 月会費** 5,000円(施設使用料込み)
- 活動内容** 初心者からベテランまで、それぞれ自由な教材で洋服作りを楽しんでいます。製図から、仮縫い、縫製まで、ペースに合わせ指導しますので安心です。
- メッセージ** 体型に合った自分だけの洋服を作ってみませんか！
タンスに眠っている着物がありましたら “もったいない”
今、着たい洋服にリメイクしましょう！ 見学、お待ちしております。

洋裁実習 & 作品



午前の授業風景



午後の部のみなさん



午後の授業風景



午前の部のみなさん



着物リメイクでチュニック制作



会館おまつり時の陳列作品



着物リメイクでドレス制作



会館おまつり時の陳列作品

- 問合せ先** 午前の部 石渡 昭子 電話 044-285-3605
午後の部 光永 洋子 電話 044-233-7666

【サークル紹介の募集ご案内】

サンピアンかわさき、ご利用のサークル様を広報誌『サンピアン通信』で紹介させていただいております。ただ今、掲載サークル様募集中。ご応募お待ちしております！

◇サークル名 ◇活動内容 ◇活動日 ◇構成人員 ◇会費 ◇メッセージ ◇問合せ先 ◇写真等を掲載させていただき、皆様のサークル活動のお手伝いをさせていただきます。ご希望の方、ご質問のある方はお気軽に受付までお申し出ください。

かわさきの今と昔

大正時代



DAISHI KAWASAKI 川崎大師山門
江戸時代には将軍も参詣した川崎大師の仲見世

川崎区大師町。江戸時代に将軍や重臣が参詣した。庶民信仰を集めた厄除けは川崎大師の名を広め、仲見世は当時から賑わいのある参道として、今日的发展と繁栄につながっている。



現在の川崎大師の仲見世

昭和2年



日本鋼管とともに発展した田島町

川崎区鋼管通。当時の田島町のメイン通り。水たまりが点在する未舗装の道路の片側に碎石を積み置きして、敷きならす準備をしている。その碎石や水たまりをよけながら、当時、まだ一般には普及していない自動車が道路奥から走ってくる様子うかがえる。



現在の鋼管通

昭和27年



市民の足のトロリーバス

川崎区砂子と川崎駅前道路。車もまばらな市役所通り。東日本初のトロリーバスは、市民の足として親しまれ、川崎駅前～桜本間(3.65キロ)が開通した。アメリカでトロリーバスが大流行した時代でもあった。



現在の市役所通り